分割統治法

計算機アルゴリズム特論:2017年度

只木進一

分割統治法(Divide and Conquer)と再帰

- ■再帰で、よりサイズの小さい問題に分割
- →分割された、非常に小さい問題を解決する。
- →その後、小さな問題の組み合わせを繰り返し、全体の問題を解く

分割統治法としてのMerge-Sort

- ■長さnのリストを、すでに整列済みの 長さn/2のリストからの整列に,問題 を分割
- ■長さn/2の整列済みのリストからの整列の計算量:最悪でn
- ■分割の回数log₂ n
 - ■分割毎にn個の要素の操作
- ■計算量: nlog₂ n

待ち行列を使ったMerge Sort の基本的考え方

- ■再帰的方法
 - ■考え方は単純
 - ■エラーが発生した場合に、突き止めるの が困難
- ■再帰過程を分析して、再帰を使わない 方法を探る

再帰の基本的構造

- ■再帰木の葉の部分まで処理を待機させる
- ■再帰木を根に戻る過程で評価を実施
- ▶分岐している場合
 - ■一つの枝の処理中、他の枝の処理は待機
- ■スタックや待ち行列で実装できる

Merge Sort リストの分離

5

 3
 8
 5
 2
 7
 6
 1
 4

 8
 5
 2
 7
 6
 1
 4

 8
 5
 2
 7
 6
 1
 4

7

Merge Sort リストの結合

3 8 5 2 7 6 1 4

3 8 2 5 6 7 1 4

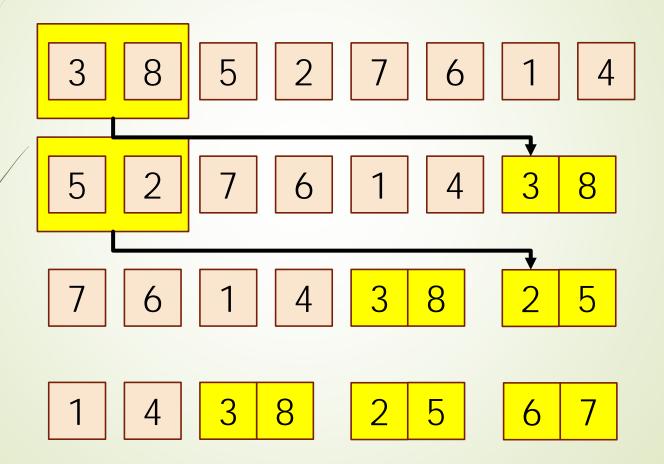
2 3 5 8 1 4 6 7

1 2 3 4 5 6 7 8

- ■入力リストの順序は、結果に影響しない
 - ■長さ1のリストに分割して、二つ毎に整列統合すればよい
 - ■二つ毎の整列統合が終わったら、さらに それらを整列統合する

- ■整列統合が終わったリストを、待ち行列で待たせて、後で処理
- ▶先頭から取り出した二つのリストは、 必ず整列されていることが重要
- ▶長さが異なっても問題にはならない

Merge Sort リストの結合



Merge Sort リストの結合

```
<[3],[8],[5],[2],[7],[6],[1],[4]>
2. <[5],[2],[7],[6],[1],[4],[3,8]>
   <[7],[6],[1],[4],[3,8],[2,5]>
4. <[1],[4],[3,8],[2,5],[6,7]>
5. < [3,8], [2,5], [6,7], [1,4] >
6. < [6,7], [1,4], [2,3,5,8] >
7. <[2,3,5,8],[1,4,6,7]>
8. < [1,2,3,4,6,7,8] >
```

リストの結合 長さが2ⁿでない場合

```
    <[3],[8],[5],[2],[7],[6],[1]>
    <[5],[2],[7],[6],[1],[3,8]>
    <[7],[6],[1],[3,8],[2,5]>
    <[1],[3,8],[2,5],[6,7]>
    <[2,5],[6,7],[1,3,8]>
    <[1,3,8],[2,5,6,7]>
    <[1,2,3,5,6,7,8]>
```

Merge Sortアルゴリズム 待ち行列での記述

```
protected void sortSub(int begin, int end) {
    Queue<List<T>> queue = new ConcurrentLinkedQueue<>();
    //全ての要素をリストにして待ち行列へ
   for (int i = begin; i < end; i++) {
      List<T> tt = Utils.createList();
      tt.add(list.get(i));
      queue.add(tt);
    //二つ毎にマージ
    while (queue.size() > 1) {
      mergeListWithQueue(queue);
    List<T> listOut = queue.poll();
    for (int i = 0; i < list.size(); i++) {
      list.set(begin + i, listOut.get(i));
```

Merge Sortアルゴリズム 待ち行列での記述

```
protected void mergeListWithQueue(Queue<List<T>> queue) {
    List<T> t1 = queue.poll();
    List<T> t2 = queue.poll();
    List<T> tOut = mergeList(t1, t2);
    queue.add(tOut);
}
```